

気になる子の保護者への支援術 ～基本的な考え方&実践へのアプローチ～

多くの保護者から学んだ
支援のポイントをお伝えします！



名城大学大学院
大学・学校づくり研究科 曾山和彦

2016.1.30

気になる子の保護者が安心するには

- 法律、発達障害の基礎知識をもつ教師であること
保護者が知っていて、教師が知らないでは済まされない
- 保護者の話を聴く教師であること
口は一つに、耳二つ

私が大切にしている言葉です



2

まずは保護者との関係づくり ～基本は子どもとの関係づくりと同様～

- 関係が弱い保護者とは「つくる」、関係が難しい保護者とは「つくりなおす」。共に関係づくり

関係づくりの第一歩は
相手への関心

「何が好きなんだろう?」「何が得意なんだろう?」
「いいところは何だろう?」、等々、子どもとの関係づくりと同じ<エピソード;ハングル少年>

<呪文> いつでもどこでもリソース(資源)、リソース

障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律(障害者差別解消法 2013.6月成立)

- 差別的取扱いの禁止(法定義務)
- 合理的配慮不提供の禁止(国・地方公共団体等は法定義務)

保護者の要望が強まるかも

2016.4月施行に向けて

・「差別」「合理的配慮」の具体例について、今後、国が基本方針を策定

4

知っていますか?

自閉症スペクトラム障害(Autism Spectrum Disorder)

2領域(社会的コミュニケーションの制限、反復性の行動・興味)における軽度(L1)～重度(L3)の能力低下という連続体を示す障害
(DSM- 日本語版 2014年5月発刊)

PDD(広汎性発達障害)

* 社会性、コミュニケーション、想像力の弱さ

- ・自閉性障害(*この中で知的な遅れを伴わない者が「高機能自閉症」)
- ・レット障害
- ・小児期崩壊性障害
- ・アスペルガー障害
- ・特定不能PDD(*非定型自閉症と同義)

DSM- では
PDDの診断名



5

必ず歩きたい
「王道」

ASDへの支援のワザ

- 視覚情報の活用 フォトグラフィックメモリー
- 一度にひとつ 短期記憶の弱さ
- 予定の伝達 見通しのもちにくさ
- 肯定的表現 苦手な禁止、注意
- 文化に寄り添う



感覚の過敏性

(例) 触覚、聴覚、視覚、嗅覚、味覚等

字義性

(例) 真っ直ぐ家に帰るのよ あそこの角を曲がらないと帰れないよう～

拙著「気になる子への支援のワザ」(教育開発研究所)に事例がたっぷり

保護者の声から 見出す支援のヒント

- 先生は、私の話を否定することなく、いつも真剣に聴いてくださった。それが何よりもうれしかった
(自閉症児の母) **傾聴**
- 構えずに話を聴いてほしい。一緒に考えましょうと言ってほしい。そうすれば先生方を信頼できる
(アスペルガー児の母) **エンプティスクリーン**

逆転移に注意!



文溪堂'hito*yume,2013年Vol. 15に支援のヒントが満載!

7

「言葉を伝える」ための大前提 ～保護者の話を聴く～

自分の「聴き方」をロールプレイでチェック!

なぜ、ロールプレイなのか? (ロールプレイの意義)

ロールプレイは「道場の竹刀稽古」。本番で斬らない、斬られないために稽古を積む(河合)

8

傾聴

～全ての理論、技法を超えた基礎・基本～

- 言葉の応答に限らず、身体全体、心も併せて聴けたか(言語及び非言語的コミュニケーションはどうだったか)
- 相手の話を取ってしまわなかったか
- ジョイニング(波長合わせ)ができたか

話し上手は、聴き上手

9

傾聴の理論ベース

～自己理論～

自己理論に基づく心理療法が「来談者中心療法」。日本における「カウンセリングの代名詞」とも言えるほどである。

- 「クライアントがどこに行くべきか、どう生きるべきかを知っているのは、他ならぬクライアント自身」(ロジャーズ)
- では、カウンセラーの仕事とは何か。「クライアントが十分に自己探求できるような安全な雰囲気を提供し、クライアントの話に耳を傾けること(傾聴)」
- カウンセラーは助言などせず、傾聴することが大切。(ロジャーズは、初期に「非指示的アプローチ」と呼んだ。)

10

ロジャーズの「3条件」

「パーソナリティ変化の必要にして十分な条件」(1957年論文)

- 1. 二人の人間が心理的接触をもっていること
- 2. クライアントは不一致状態にあり、傷つきやすい、あるいは不安状態にあること
- 3. セラピストはこの関係の中で一致しており、統合されていること
(自己一致)
- 4. セラピストはクライアントに対して、無条件の肯定的配慮を経験していること(無条件の肯定的配慮=受容)
- 5. セラピストはクライアントのものの見方に共感的な理解を経験しており、そしてこの経験をクライアントに伝達するよう努めていること
(共感的理解=共感)
- 6. セラピストの共感的理解と無条件の肯定的配慮をクライアントに伝達することが最低限に達成されること

自己一致、無条件の肯定的配慮、共感的理解が
カウンセラーのとるべき態度として有名な「3条件」

11

傾聴の意義と基本技法

- クライアントの言葉を鏡になって返すことにより、クライアント自身の自己対話が始まる。
- アメリカの心理実験。カウンセラーの技量、技法に関係なく、クライアントが治るときにはカウンセリング場面で必ず「沈黙」がある。

基本5技法

12

ジョイニング

基本技法を組み合わせ、相手の価値観等に
波長を合わせる

失敗例

そんなに落ち込ま
ないで、ポジティブに
考えよう！！

そう思えたら相談
に来てないわよ

相談するの
やめよう

いつも失敗ばかり
なんだから



13

保護者を支援する自分に 「OK」と言う

OECDの「国際教員指導環境調査」(2013年、34カ国・地
域)の結果、日本の中学校教員の勤務時間が最長である
ことが明らかになった。
さらに、日本の教員は

自分にOKと言えない人は、他者には尚更OKとは言えない。
自分を大切にできない人は、他者は尚更大切にできない。
だからこそ、自分を大切に！
頑張っている自分・仲間に「OK」と言おう！

14

ストローク

交流分析理論の中で
私が好きな概念です



□ 定義；他人に対する態度の表現

□ 種類

1. 言語的・非言語的
2. プラス・マイナス
3. 条件付き・無条件
4. フィジカル

15

ストロークの法則

具体的に
イメージしてみましょう！



1. 人はプラスストロークを求めが、得られないときはマイナスストロークを求める
2. 人は条件付きストロークを受け続けると、真のストロークを受けるに値しない人間と感じる
3. プラスストロークを人に与えるほど、やがて、それが自分に返る(ブーメラン効果)

16

ストローク・バンク



□ 人は誰でも心にストロークの銀行をもっている

□ ストローク預金があれば、他人のマイナスストロークの受け止め、他人へのプラスストロークの貸し出しができる

自尊感情が程よく高い状態

17

ストローク・プラン

1. ストローク預金があれば、周りに与えよう
2. 欲しいストロークは要求しよう
3. 欲しいストロークが来たら、喜んで受け取ろう
4. 欲しくないストロークは上手に断ろう
5. ストローク預金が減ったら、自分で自分にストロークを与えよう

具体的にどんなことができますか？



18

保護者との関係づくり 「王道」ステップ

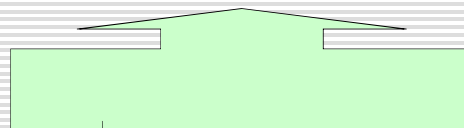
- First step; **鎧**を尊重する
↑ 保護者の価値観等
- Second step; **手柄**は保護者に返す
↑ 子どもの変化等

「洋服」の第1ボタンをはめれば、
次のボタンはスムーズにはめることができます

19

元気をなくしている保護者に使いたい！ サバイバル・クエスチョン

私は子育てができないダメな親です



これがリソース(資源)



20

元気をなくしている保護者に伝えたい！ 例外探し

うまくやれていること(例外)はきっとある

「うざい！」と言う
暴言が「問題」



「お母さん、あのね」と
言う丁寧話が「例外」

なぜ、「例外」が生まれた？
(例外の責任追及)

- ・「ごはんの前に一緒に遊んだから」
- ・「ゆっくりと話を聴いたから」

支援のヒントがここにある

私たちは「問題」が100%のように思いがち

21

「禁句」を使いがちな保護者に伝えたい！ リフレーミングによる言葉かけ

宿題が半分までしか終わっていない
子どもを見て

まだ、できないの？ <禁句>

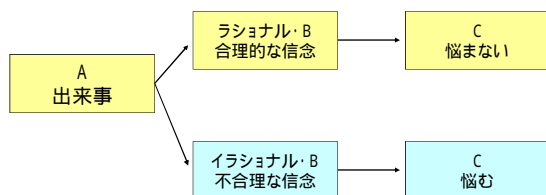
(年齢に応じて)



22

リフレーミングの理論ベース ～論理療法～

- 骨子は「考え方次第で悩みは消える！」



23

保護者への支援 ～失敗から学んだこと～

- 時には「漂う」
「助言」して失敗ばかり。だから時には
- 「でも」に注意
「でも」の次に来る「正論」が早すぎて
- 外部機関の力を借りる
外部機関の声が響きやすいことも

まず、医療ではなく、教育の場(教育センター等)につなぐ

24

とっても参考になります

保護者面接7ステップ (黒沢)

- 合わせる(ジョインング)
- 問題意識の確認;「何を問題と感じている？」
- ゴールイメージの設定;「どうなればいい？」
- 保護者へのエンパワメント;「お母さんのせいではない」
- リソース探し;「子どものいいところは何？」
- 例外探し;「うまくいっていることは何？」
- 介入;「うまくいっていることを見つけて」

25

保護者への支援術 まとめ1

~保護者の「元気」を奪ってしまう助言~

先生、私はどうしたらいいでしょうか？

↓

助言1:「とにかく前向きに考えませんか？
(それができれば相談に来ないわよ)」

助言2:「 してみてください」で悩み解決
(次も困ったら先生に助けてもらえるわ)」

助言3:「 してみてください」で悩み未解決
(専門家のくせに何の役にも立たないわ)」

26

保護者への支援術 まとめ2

~保護者の「元気」を育む支援~

とにかく、話を聴く~基本5技法(受容、繰り返し、明確化、支持、質問)の活用~
「あの人が頷くだけで出る勇氣」

正論をぶつけない~「でもね」に注意~
「わかっているけど、あなたに言われたくない」

引き分けを目指す~勝たず、負けず~
「第3の道を探す」

↑
時には「漂う」ことも大切!

27

頑張っている自分を好きになり、保護者の前に立つ そのために

- 「毎日、少しずつよくなっている」(クーエの自己暗示法)
- 「あなたはあなた、私は私。だけど、もし私たちがお互いを必要としているなら、それは素晴らしいこと。しかし、もしそうじゃなければ、それはそれで仕方がないこと」(パルズのゲシュタルトの祈り)
- 「幸せだから笑うのではない。笑うから幸せ」(アランの幸福論)
- 「周りの人の力を借りる」(いいとこ四面鏡)

28

周りの人の力を借りて、自分のことが好きになる

演習;いいとこ四面鏡

1. シートに自分の名前、メンバーの名前を記入する
2. グループ内でシートを回す(交換する)
3. 自分の名前の欄に、その人のいいところだと思う場所に を3個つける。
4. メンバー全員交換し、書き終えたら自分のシートを見る
5. どうしてその項目に をつけたのか、お互いに伝える

シート交換時の「お願いします」のスキルも大切に!

主な参考・引用文献

- 「指導援助に役立つスクールカウンセリング・ワークブック」、黒沢幸子、金子書房
- 「12番目の天使」、オグ、マンディーノ、求龍堂
- 「幸福論」、アラン、岩波書店
- 「教師の生きがい~使命感のある教師はなぜタフなのか」、児童心理8月号臨時増刊号、曾山和彦、金子書房
- 気になる子の保護者への支援術、曾山和彦、教育開発研究所

30